

とっりの豊かで良質な地下水の保全及び持続的な利用に関する条例の運用について

平成 26 年 2 月 6 日
水・大気環境課

1 条例に基づく届出

- 平成 25 年 4 月 1 日に、とっりの豊かで良質な地下水の保全及び持続的な利用に関する条例が施行され、194 件(135 事業者)の届出を受理した。(平成 26 年 1 月末現在)

2 鳥取県地下水研究プロジェクト(委員 7 名)

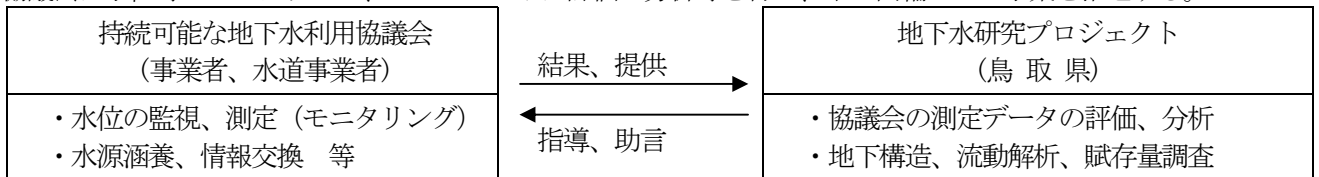
- 平成 25 年 5 月 15 日にプロジェクトを設置し、これまで 3 回開催し、水文情報整理(地下水位、河川水位・流量、ダム貯水・放流量、気象(気温、降水・積雪量)等)及び地盤、地質情報のデータベース化に着手した。
- 西部地区の流動解析等シミュレーションにも年度内に着手する予定。

3 鳥取県持続可能な地下水利用協議会(採取事業者で構成)

- 平成 25 年 7 月 12 日に、「鳥取県持続可能な地下水利用協議会(採取事業者で構成)」が設立、56 事業者 66 事業所が入会(平成 26 年 1 月末現在)された。
- 地下水位モニタリングに着手するとともに、設立記念シンポジウム(8/31)、森林整備活動(新植、間伐・枝打ち)を実施した。併せて、名水ツーリズム(延べ 37 名参加)の事業所視察には、鳥取市水道局、コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株の協力を受け実施した。
- 平成 26 年 3 月 1 日 協議会総会では、とっりの名水川柳コンクール表彰、地下水研究プロジェクトの進捗報告等を行う予定。

【協議会及び研究プロジェクトの概要】

協議会は水位等のモニタリング、プロジェクトは評価・分析等を行い、車の両輪として事業を推進する。



区分	地下水利用協議会	地下水研究プロジェクト		
事業名 /年度	全県 地下水モニタリングデータ整理	西部地域 水文情報整理	全県 地盤、地質情報の整理強化	西部地域 流動解析等のシミュレーション
25	○水道水源井戸 18 (近隣井戸 15) ○地盤沈下監視 12 ○近隣降水量 16 ⇒井戸毎に水位、近隣降水量を見える化 ・整理⇒3年間分(H22-24)	○河川データ 46 (水位・流量) ○ダムデータ 9 (貯水量、流入量、放流量) ○気象データ 40 (降水量、気温、積雪量等) ・整理⇒10~50年間分	○既存データ 3,720 ・山陰臨海平野地盤、鳥取県地盤図、等 ○新規データ 2,682 ・経緯度、標高、地質、硬度等 ・整理⇒6,402 本	○左記のデータベースを取り込み県内のシミュレーションを実施 ○地下水の流動等を解析し見える化・県民等へ公開
26	◇地下水利用協議会モニタリング開始	◇25 年度中に整理したデータを反映 ◇26 年度以降に届出される揚水量データ(約 200 箇所)を反映 ◇協議会モニタリングデータ 30 を反映		◇西部地域の流動解析等シミュレーション開発